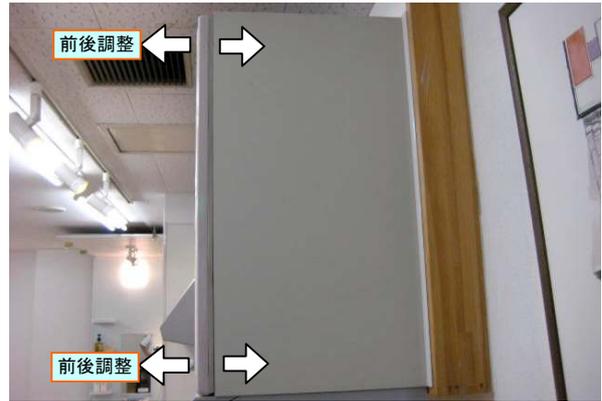
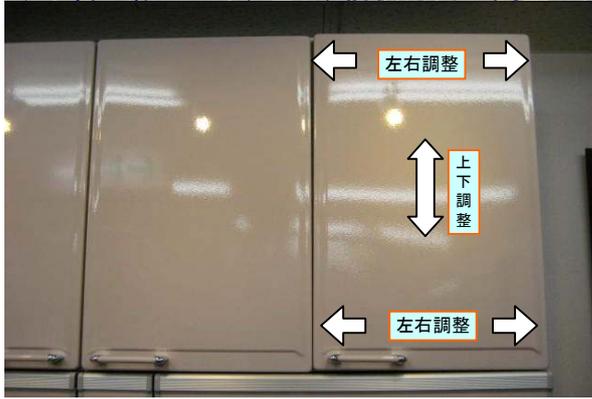
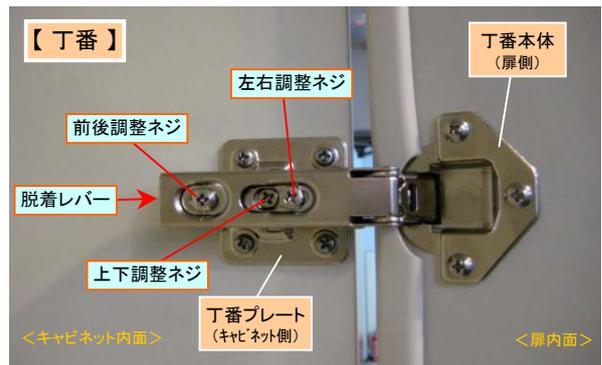
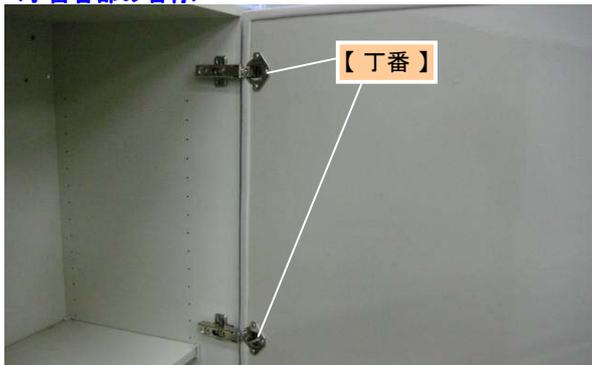


◇丁番で扉の上下、左右、前後方向の調整が出来ます。



<丁番各部の名称>



『扉の脱着方法』



【扉の取り外し手順】

- (1) 扉が落下しないように扉を片手で持ちます。
- (2) もう一方の手で下側の丁番を外します。
- (3) 上側の丁番を外し、扉を外します。

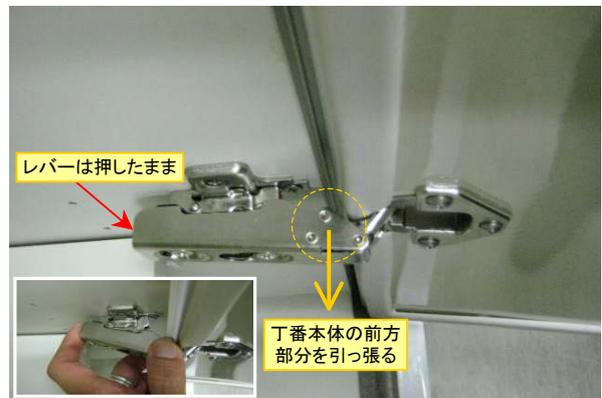
※ 扉の取り付けは、取り外しと逆の手順になります。
上側⇒下側の順に丁番を取り付けます。

注意) 扉の脱着は扉が落下しないよう、最後まで扉から手を離さないでください。

<取り外し方法>

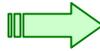
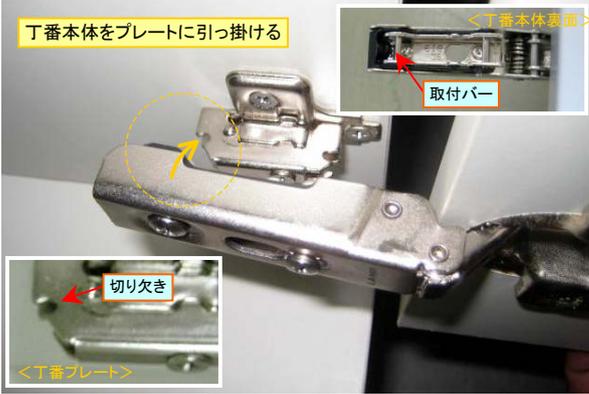


丁番本体裏面の脱着レバーを押します。



脱着レバーを押したままで、丁番本体の前方部分を手前に引っ張ると丁番が外れます。

＜取り付け方法＞



D番本体裏面の取付バーをD番プレートの切り欠き部分に引っ掛けます。

D番本体の前方部分を押し、D番本体がプレートに取り付きます。

『扉の調整方法』

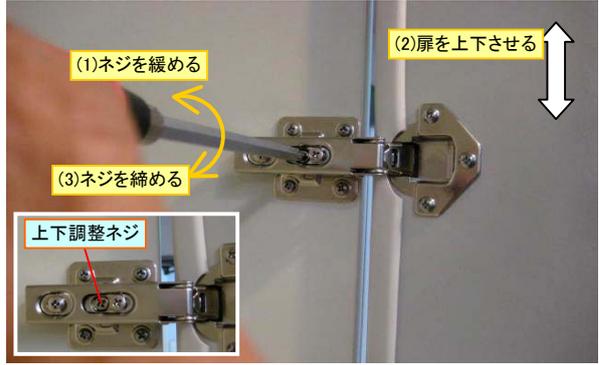
＜左右方向の調整＞



隣の扉とのスキ間を均一にする場合に左右を調整します。
 「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで左右に廻すと、扉が動きます。
 右開きの扉はネジを左に廻すと左へ、右に廻すと右へ動きます。
 左開きの扉はネジを左に廻すと右へ、右に廻すと左へ動きます。

上下のD番を調整し、スキ間を均一にします。
 調整後、「前後調整ネジ」が緩みますので、ネジを締め直します。

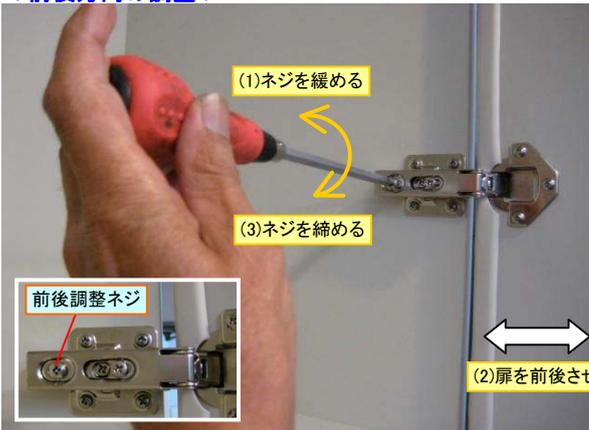
＜上下方向の調整＞



隣の扉と高さが段違いの場合に上下を調整します。
 扉の上下両方のD番の「上下調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。
 注意)ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

扉が上下しますので、扉の高さを合わせて、「上下調整ネジ」を締めます。
 注意)この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

＜前後方向の調整＞



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に前後を調整します。

「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

注意)ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

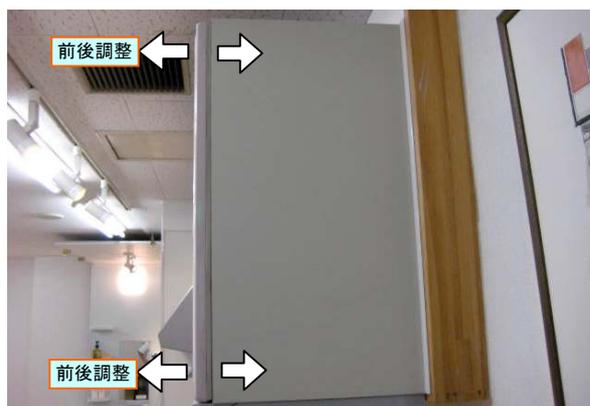
＜危険＞
 ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉が前後しますので、扉の位置に合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。

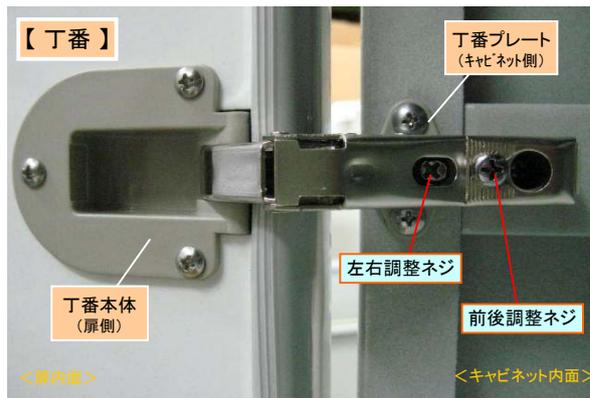
注意)この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

注意)「調整ネジ」以外のネジはD番を扉やキャビネットに取り付けるネジのため、通常は廻さないでください。扉が『がたつく』場合にのみ、これらのネジを締め直してください。

◇丁番で扉の左右、前後方向の調整が出来ます。



<丁番各部の名称>



『扉の脱着方法』



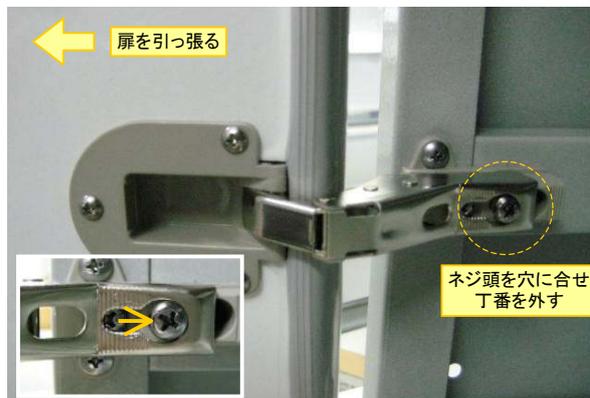
【扉の取り外し手順】

- (1) 扉が落下ないように扉を片手で持ちます。
- (2) もう一方の手で下側の丁番のネジを緩めます。
- (3) 上側の丁番のネジを緩め、扉を外します。

※ 扉の取り付けは、取り外しと逆の手順になります。
上側⇒下側の順に丁番を取り付けます。

注意) 扉の脱着は扉が落下しないよう、最後まで扉から手を離さないでください。

<取り外し方法>

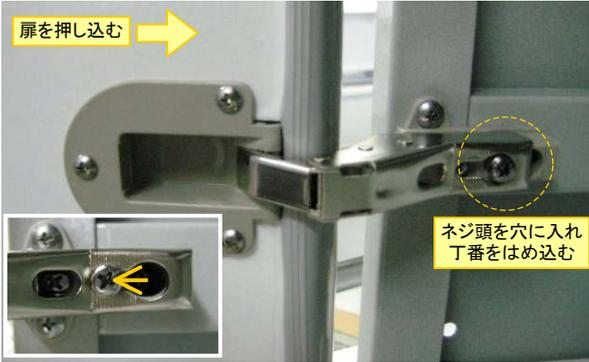


「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

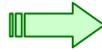
<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉を引っ張り「前後調整ネジ」のネジ頭を丁番本体のだるま穴に合せて、丁番を外します。

< 取り付け方法 >



「前後調整ネジ」のネジ頭を丁番本体のたるま穴に入れます。
扉を押し込み、丁番本体をはめ込みます。



「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで締めて、丁番を固定します。
注意この時、ネジはしっかり締めてください。締めが甘い場合は後日、扉が『がたつく』
『落下』する危険があります。また、その場合はネジを締め直してください。

『扉の調整方法』

< 左右方向の調整 >



隣の扉とのスキ間を均一にする場合に左右を調整します。
「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。
注意ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！



「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで左右に廻すと、扉が動きます。
右開きの扉はネジを左に廻すと左へ、右に廻すと右へ動きます。
左開きの扉はネジを左に廻すと右へ、右に廻すと左へ動きます。



扉の位置を合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。
注意この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が
『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

注意「調整ネジ」以外のネジは丁番を扉やキャビネットに取り付けるネジ
のため、通常は廻さないでください。扉が『がたつく』場合にのみ、
これらのネジを締め直してください。

< 前後方向の調整 >



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に
前後を調整します。
「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。
注意ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

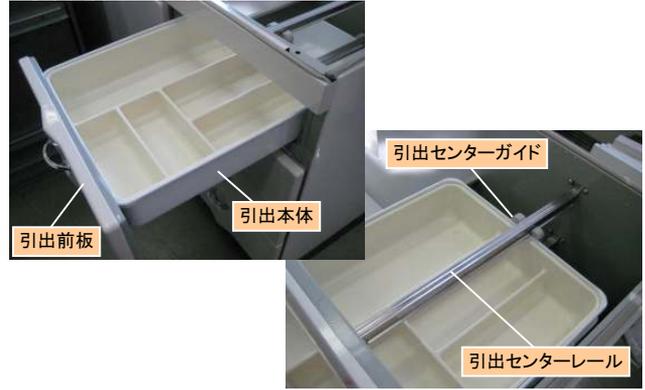
<<危険>>
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉が前後しますので、扉の位置を合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。
注意この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が
『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。



※引出前板は調整出来ません。

<引出各部の名称>



<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。

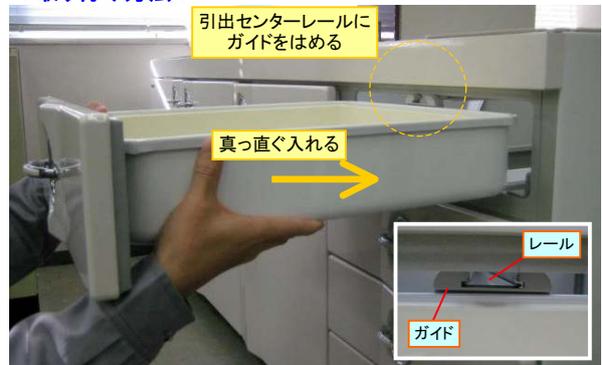


目一杯引き出した状態で、ゆっくり引出を持ち上げます。



引出本体裏側の引出ストッパーが枠に当たらなくなります。引出を真っ直ぐに引き抜きます。

<取り付け方法>



引出を真っ直ぐに入れ、引出センターガイドをセンターレールにはめ込みます。



引出ストッパーが枠を超えるように、引出前板を持ち上げながら引出を入れます。

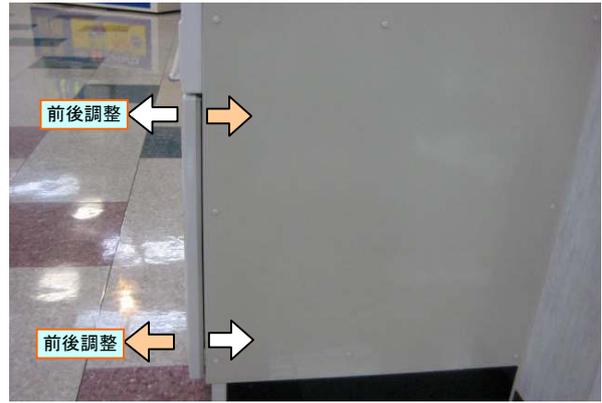
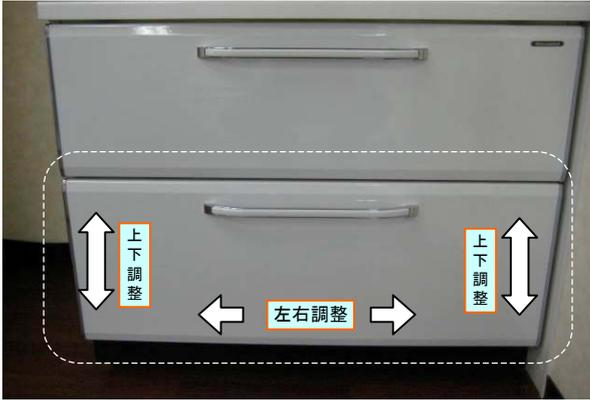


引出ストッパーが枠を超えたら、引出前板を降し、引出を奥まで入れます。

☆引出の調整方法 (コマ式レール/引出本体:ホーロー・金属)

ホーロー/木製キャビネット用
[ハーン社製 インパスレール]

◇引出前板の上下, 左右, 前後方向の調整が出来ます。

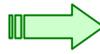


<引出各部の名称>



『引出の脱着方法』

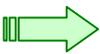
<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。

目一杯引き出した状態で、ゆっくり引出を持ち上げます。
そのまま斜め手前に引き抜きます。

<取り付け方法>



引出の前板を上げて斜めの状態で、引出本体のコマをレールにはめ込みます。

引出前板を降し、引出を奥まで入れます。

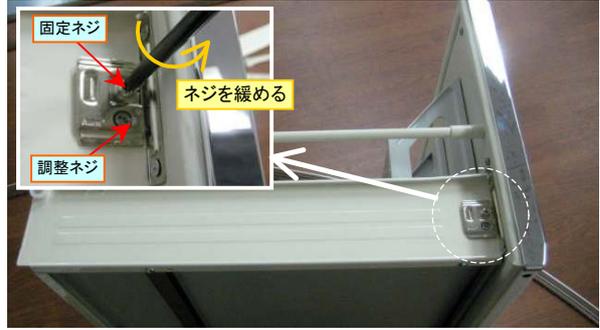
『引出の調整方法』

<調整前の作業>



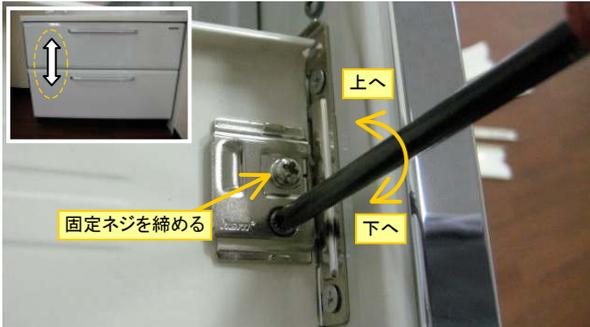
「上下調整」「左右調整」の前に行ないます。
引出を取り外し、裏面のL金具を(+)ドライバーで外します。
「上下調整」「左右調整」後に必ず、取り付けてください。

<上下方向の調整>



上(下)の引出前板とのスキ間が左右で違う場合に調整します。
引出の側面の「固定ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。
注意ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、前板が落ちますので外さないでください。

向かって<左側>のレール



「調整ネジ」を(+)ドライバーで廻します。
左に廻すと前板が上がり、右に廻すと前板が下がります。
上下方向の調整後、固定ネジを締めます。

向かって<右側>のレール



「調整ネジ」を(+)ドライバーで廻します。
左に廻すと前板が下がり、右に廻すと前板が上がります。
上下方向の調整後、固定ネジを締めます。

<左右方向の調整>



隣の扉とのスキ間が左右で違う場合に調整します。
引出本体横の金具の「調整ネジ」で調整します。
「調整ネジ」は引出本体横の両側2ヶ所で4本あります。



「調整ネジ」4本全てを(+)ドライバーで緩めます。
注意ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、前板が落ちますので外さないでください。
前板を左右に動かして調整後、「調整ネジ」を締めて前板を固定します。
注意前板は平行に動かし、引出本体の側面が「ハの字」にならないようにしてください。
側面がゆがんで前板に付くと、引出の出し入れが固くなります。

<前後方向の調整>



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に前後を調整します。
バーの先端にあるキャップをずらします。

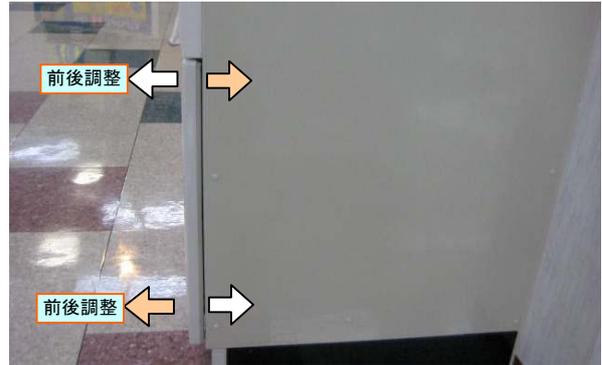
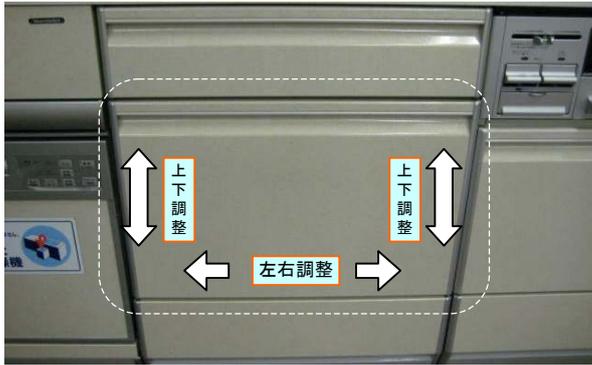


バーの先端に「調整ネジ(グレーの樹脂部品)」があります。
「調整ネジ」を手で廻すと、前板が前後に動きます。
前後方向の調整後、キャップを元に戻します。

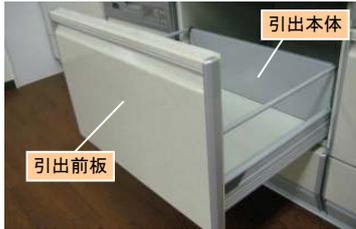
☆引出の調整方法 (ペアリング式レールソフトクローズ付)

ホーローキャビネット用
〔ブルーム社製 タンデムボックスレール〕

◇引出前板の上下, 左右, 前後方向の調整が出来ます。



<引出各部の名称>



『引出の脱着方法』

<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。



手前に引いたまま、前板を降ろすと引出がレールから外れます。

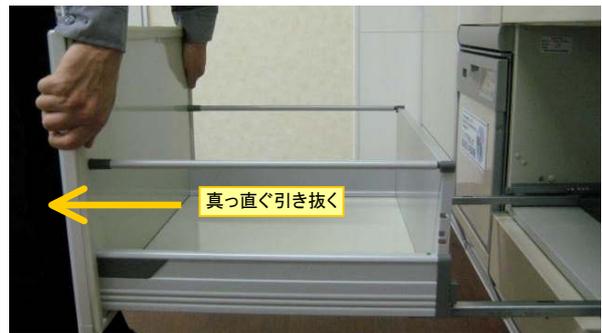
<取り付け方法>



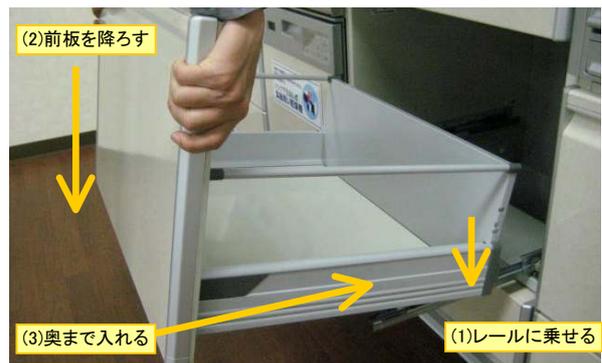
キャビネット側のレールを引き出します。



前板を持ち、少し手前に引きながら、持ち上げます。



そのまま、真っ直ぐに引き抜きます。



引出をレールに乗せ、前板を降ろします。
引出を奥まで入れると取り付けます。

『引出の調整方法』

<調整前の作業①>

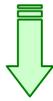


「上下調整」「左右調整」の前に行ないます。
引出を取り外し、裏面のL金具を(+)ドライバーで外します。
(注意)金具は引出の場所によって数量(0,1,3ヶ)が異なります。
「上下調整」「左右調整」後に必ず、取り付けてください。

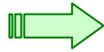
<調整前の作業②>



「上下調整」「左右調整」の前に行ないます。
引出本体横のキャップに(-)ドライバーを差込み、キャップを外します。
「上下調整」「左右調整」後に下記の要領で、取り付けてください。



キャップ裏面のツバを調整ネジの穴に差し込みます。

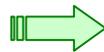


キャップを押し込むと取り付けます。

<上下方向の調整>

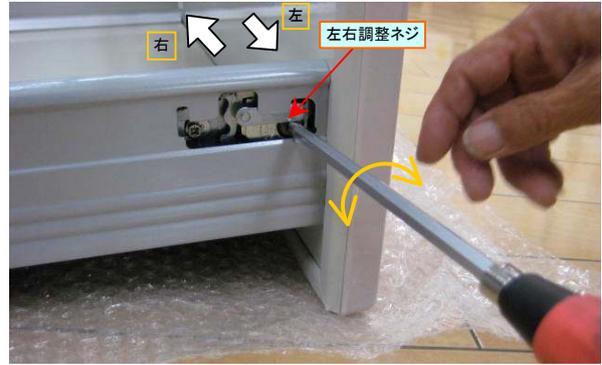
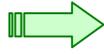


上(下)の引出前板とのスキ間が左右で違う場合に調整します。



「上下調整ネジ」を(+)ドライバーで廻すと、前板が上下に動きます。

< 左右方向の調整 >

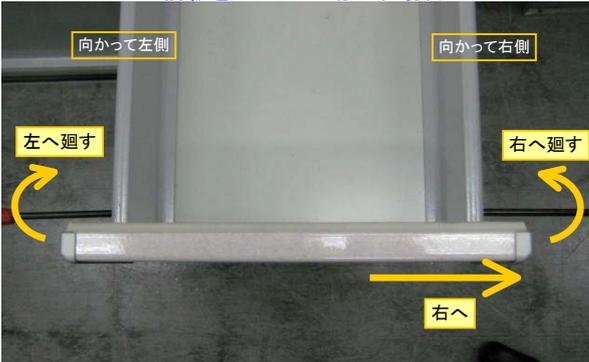


隣の扉とのスキ間が左右で違う場合に調整します。

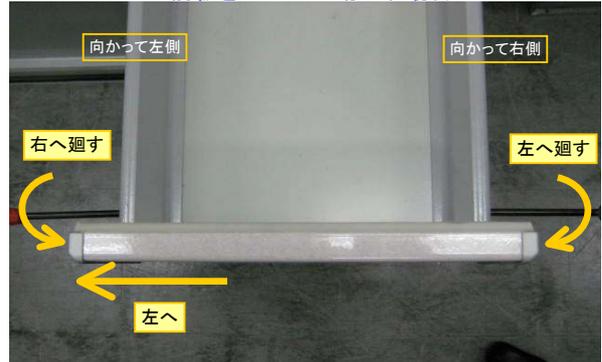
「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで廻すと、前板が左右に動きます。左右両方の「調整ネジ」を廻します。



前板を<右>に動かす場合



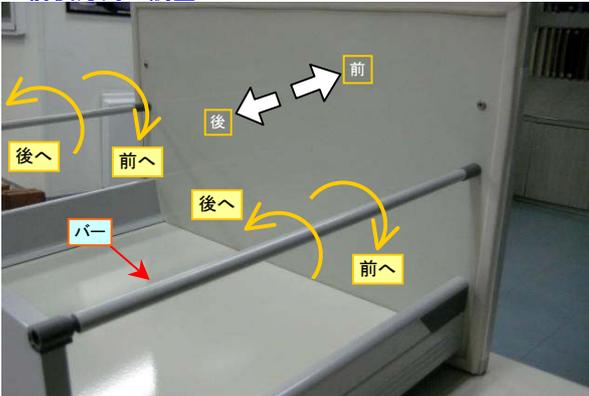
前板を<左>に動かす場合



向かって右側の「調整ネジ」を右へ廻します。
向かって左側の「調整ネジ」を左へ廻します。
左右の「調整ネジ」は同じ程度、廻してください。

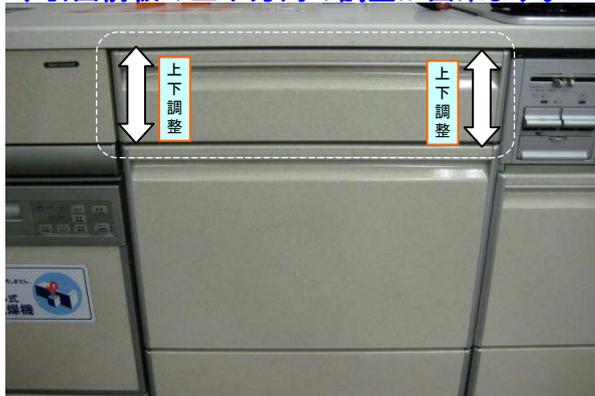
向かって右側の「調整ネジ」を左へ廻します。
向かって左側の「調整ネジ」を右へ廻します。
左右の「調整ネジ」は同じ程度、廻してください。

< 前後方向の調整 >



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に前後を調整します。
「バー」を手で廻すと、前板が前後に動きます。

◇引出前板の上下方向の調整が出来ます。



<引出各部の名称>



『引出の脱着方法』

<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。



レバーを握ったままの状態、引出の前板を上げてレールから外します。
そのまま引出を引き抜きます。



引出本体をレールに載せます。



目一杯引き出した状態で、引出本体裏面のレバーを握ります。

<取り付け方法>



レールを目一杯、引き出します。



引出を奥まで入れると「カチッ」と音が鳴り、引出が取り付けます。

『引出の調整方法』

＜上下方向の調整＞



上(下)の引出前板とのスキ間が左右で違う場合に調整します。
引出裏面の左右の「調整用ダイヤル」を指で廻します。



向かって<左側>



「調整ダイヤル」を外側へ廻せば前板は下へ動きます。
内側へ廻せば前板は上へ動きます。



向かって<右側>

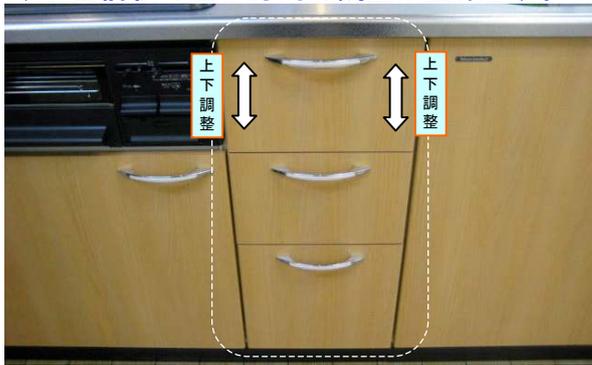


「調整ダイヤル」を外側へ廻せば前板は下へ動きます。
内側へ廻せば前板は上へ動きます。

☆引出の調整方法 (コマ式レール/引出本体:樹脂)

木製キャビネット用
[ローラーコックスレール]

◇引出前板の上下方向の調整が出来ます。



<引出各部の名称>



『引出の脱着方法』

<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。



目一杯引き出した状態で、ゆっくり引出を持ち上げます。そのまま斜めに引き抜きます。

<取り付け方法>



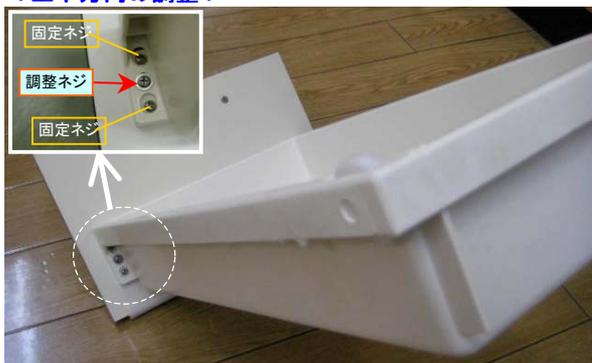
引出を前板を上げた状態で、引出本体のコマをレールにはめ込みます。



引出前板を降し、引出を奥まで入れます。

『引出の調整方法』

<上下方向の調整>



上(下)の引出前板とのスキ間が左右で違う場合に調整します。引出前板の裏面に、引出の「調整ネジ」と「固定ネジ」があります。

注意)「固定ネジ」は通常は廻さないでください。前板が『がたつく』場合にのみ、ネジを締め直してください。



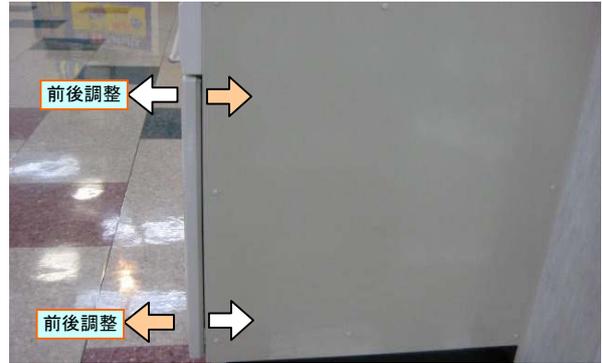
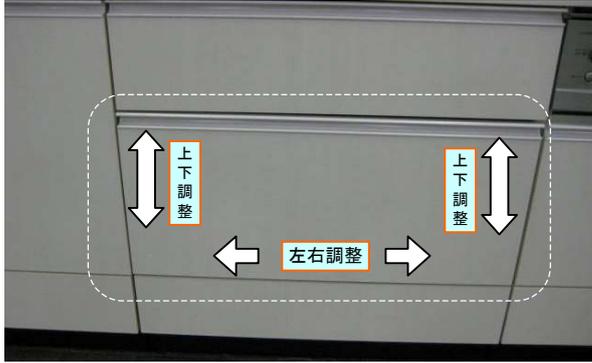
「調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。前板を上下方向で調整した後、「調整ネジ」をしっかり締めます。

注意)この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、前板が『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

☆引出の調整方法 (ヘアリング式レールソフトクローズ付)

木製キャビネット用
[ヘティヒ社製 イノテックレール]

◇引出前板の上下, 左右, 前後方向の調整が出来ます。



<引出各部の名称>



『引出の脱着方法』

<取り外し方法>



引出をゆっくり、止まるまで目一杯引き出します。



目一杯引き出した状態で、引出裏面にある両側のレバーを押します。



レバーを押したまま、前板を持ち上げると引出本体がレールから外れます。そのまま引出を引き抜きます。

<取り付け方法>



キャビネット側のレールを引き出します。
引出本体をレールに載せます。



引出前板を降ろし、引出を奥まで入れると取り付けます。

『引出の調整方法』

＜調整前の作業①＞



「上下調整」「左右調整」の前に行ないます。
引出本体裏面の本体と前板を固定しているネジを外します。
(注意)金具は引出の場所によって数量(0,1,3ヶ)が異なります。

「上下調整」「左右調整」後に必ず、取り付けてください。

＜調整前の作業②＞



「上下調整」「左右調整」の前に行ないます。
引出本体横のキャップを外します。
「上下調整」「左右調整」後に必ず、取り付けてください。

＜上下方向の調整＞



上(下)の引出前板とのスキ間が左右で違う場合に調整します。
「上下調整ダイヤル」を指で廻すと、前板が上下に動きます。
ダイヤルの上に「UP→(上)」「DOWN←(下)」の表示があります。
表示の向きに従ってダイヤルを廻してください。

＜左右方向の調整＞



隣の扉とのスキ間が左右で違う場合に調整します。
「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで廻します。
(「左右調整ネジ」は引出本体の右側のみです。)
左に廻すと前板が左へ、右に廻すと前板が右へ動きます。

＜前後方向の調整＞



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に
前後を調整します。
「バー」を手で廻すと、前板が前後に動きます。